

○江の川上流域の減災に係る取組（概ね5年で実施する取組）

実施主体：● 技術支援・共同実施：○

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関					
事項	具体的取組		三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整	
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組								
■大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）の更新								
・大規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時を考慮したタイムラインの更新		A, B	H30年度より随時	●	●	●	●	●
・内水タイムラインの作成			H30年度より随時	○	○		○	●
・複合災害や夜間・荒天時などをタイムラインに反映			H30年度より随時	●	●	●	●	●
・大規模氾濫のタイムラインの作成			H30年度より随時	○	○	○	○	●
・住民が安全に避難するための避難勧告等の発令基準の見直し・避難誘導体制の検討		C, D, E	H30年度	●	●	○	○	○
・内水位の被害想定・情報提供基準の策定			H30年度	○	○			●
・大規模氾濫の避難勧告等発令基準の事例などの技術支援			H30年度				●	●
・避難誘導計画の事例提供・技術支援			H30年度			○		●
・避難勧告の発令基準の見直し（大規模氾濫・内水）			H30年度	●	●		○	○
・避難誘導体制の検討			H30年度	●	●			
■大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知								
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域避難所）		G, H, I	H31年度	●	●	○		○
・国管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表			H28年度（実施済み）					●
・広島県管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表			H31年度			●		
・土砂災害警戒区域等の公表			H31年度			●		
・避難所検討の事例提供・技術支援			H30年度			○		●
・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の抽出			H29年度	●	●			
・避難所等の検討			H31年度	●	●			
・内水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討		G, H, I	H31年度	●	●	○		○
・過去の内水被害や地形データ等の資料提供			H30年度					●
・土砂災害警戒区域等の公表			H31年度			●		
・避難経路等の検討			H31年度	●	●			
・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援		L, M	H29年度から順次実施	●	●	○	○	●
・気象情報の活用に係る技術支援			H29年度				●	
・水害（土砂災害・内水含む）に係る技術支援			H29年度			○		●
・策定全体に係る調整及び技術支援			H29年度	●	●			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知		F, G	H32年度	●	●			
・浸水被害軽減地区の指定の検討		Y	H30年度	●	●			○
■住民の避難行動を支援する防災情報の提供								
・関係機関による内水被害状況の共有		N	H31年度	●	●	●		●
・広域避難や事前水防活動等に資する長期水位予測等の実施		B, N	H30年度					●
・緊急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信プッシュ型の洪水情報等の情報発信		J, K	H29年度					●
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善		A	H29年度				●	
・避難情報伝達手段の普及促進		J, K	H28年度から継続実施	●	●			
・洪水時における情報提供等		A, B	継続実施	●	●	●	●	●

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関				
事項	具体的取組		三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整
②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組							
■河川管理施設を最大減活用するハード・ソフト対策の促進							
・近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備の促進	W	H32年度					●
・決壊までの時間を少しでも引き延ばすような堤防構造を工夫する対策	X	H32年度					●
・ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施	M	H25～32年度					●
・避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施	N, R, S	H30年度	○	○	○		●
・危機管理型水位計の整備	N	H30年度～					●
・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	P, S	H30年度～					●
・河川管理の高度化の検討	O	H30年度～					●
■避難行動を支援する効率的な河川巡視・水防活動							
・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	Q	H29年度	●	●	●		●
・局所的に低い堤防等の事前水防活動	O, P	順次実施	●	●			●
・事前水防箇所の選定・資料提供		順次実施					●
・事前対応の基準作成と役割分担		順次実施	●	●			●
・関係機関による避難経路の被災状況の情報共有	H, M	H30年度	●	●	●		●
・関係機関の情報共有方法の策定		H30年度	●	●	●		●
・関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率的な水防活動と避難支援を行うための現地点検	M, O, P, Q	H31年度	●	●			●
・水防団の行動計画等の事例提供や技術支援		H30年度					●
・水防団の行動計画策定		H30年度	●	●			○
・現地点検の実施		H31年度	●	●			○
・水防に関する広報の充実（水防団確保に係る取組）	P	H30年度	●	●			○
・水防に関する広報の充実		H30年度	●	●			○
・水防団確保に係る取組		H30年度	●	●			○
・水防団での連携、協力	P, Q	継続実施	●	●			○

具体的な取組の柱		目標時期	実施する機関					
			三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整	
事項	具体的取組							
③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組								
■ 水防災を意識した防災教育の実施 ■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施								
	・過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催	F, T, U	H30年度	●	●	○	○	●
	・過去の災害や他河川の災害事例による広報資料作成		H29年度				○	●
	・防災講習会の開催		H30年度	●	●	○	○	●
	・タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施	V	H30年度	●	●	○	○	○
	・訓練事例及び訓練要領作成の技術支援		H29年度				○	●
	・訓練実施		H30年度	●	●		○	○
	・地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施	N, O, Q	H28年度から定期的に実施	○	○			●
	・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充	T, U	H29年度から順次実施	●	●	○	○	●
	・小中学校の選定, 水害伝承者等の推薦		H28年度	●	●			
	・他河川の事例収集・教材作成		H29年度				○	○
	・水害教育の実施		H29年度	●	●	○	○	●
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施								
	・ハザードマップやタイムラインを考慮した防災ワークショップの開催	T	H30年度から順次実施	●	●			○
	・事例収集及び技術支援		H30年度					●
	・ワークショップの開催		H30年度	●	●			○
	・高齢者等の災害時要配慮者を考慮した避難訓練の実施	V	H30年度から定期的に実施	●	●			○
	・事例収集及び技術支援		H29年度					●
	・避難訓練の実施		H30年度	●	●			○
その他：水害後の効率的な復旧・復興のための取組								
■ 堤防の復旧を想定した水防資機材の確保								
	・堤防の復旧を想定した水防資機材の確保	Q	H32年度	●	●	○		●
■ 大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の作成								
	・大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の作成	R	H30年度	○	○	○		●
■ 公益企業との勉強会の実施								
	・公益企業（電気・ガス・水道等）との勉強会の実施	T, U, V	H30年度	●	●	○		○
	・公益企業の業務継続計画等の事例収集		H30年度			○		●
	・勉強会の開催		H30年度	●	●			○